

美しいより、
おもしろく。
意味があるより、
おもしろく。



2025.
10.24—12.21
fri sun

このたび、市立伊丹ミュージアムでは特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」を開催いたします。

2024年11月、92歳で亡くなった詩人の谷川俊太郎は1960年代以降、さまざまな絵描きや写真家と200冊におよび絵本を作ってきました。ことばあそび、世界のありようを認識する手がかり、ナンセンスの楽しみ。そして、生きることの面白さや大変さ、尊さ、死や戦争までをテーマに、絵と言葉による表現に挑んできました。バラエティ豊かな絵本に共通するのは、読み手に対する谷川俊太郎の希望の眼差しです。展覧会は約20冊の絵本を取り上げ、多彩なクリエイターとともに、絵本の原画、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示。さらに、伊丹会場限定として『もこもこもこ』（絵：元永定正）と『よるのようちえん』（絵：中辻悦子）の原画も特別展示します。絵本の世界から飛び出した、子どもから大人まで誰もが楽しめるおもしろい展覧会です。つきましては、本展の取材及び報道にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

展覧会名：谷川俊太郎 絵本★百貨展

会期：2025年10月24日（金）～12月21日（日）

月曜休館（ただし11/3・24は開館、11/4・25は休館）

開館時間：10:00-18:00（入館は17:30まで）

主催：市立伊丹ミュージアム【伊丹ミュージアム運営共同事業体 / 伊丹市】

協力：モトナガ資料研究室

企画協力：ブルーシープ株式会社

料金：一般 1,000（900）円、大高生 700（600）円、中小生 400（300）円

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※兵庫県内の小中学生はココロンカード呈示にて無料

※伊丹市在住の高齢者料金有（平日60歳以上、土日祝65歳以上）

問い合わせ：

展覧会担当（岡本） okamoto@itami-im.jp

広報用画像の問い合わせ gakugei@itami-im.jp

TEL. 072-772-5959（代表） 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20

谷川俊太郎（たにかわ しゅんたろう）

詩人。1931 年東京生まれ。

1952 年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。

1962 年「月火水木金土日の歌」で第四回日本レコード大賞作詩賞、

1975 年『マザー・グースのうた』で日本翻訳文化賞、

1982 年『日々の地図』で第三十四回読売文学賞、

1993 年『世間知ラズ』で第一回萩原朔太郎賞など受賞・著書多数。

詩作のほか、絵本、エッセイ、翻訳、脚本、作詞など

幅広く作品を発表した。

右のポートレートは、「すきのあいうえお」の「む」として、「む」かしの自分の写真をもった谷川さんを映したもの。

「すきのあいうえお」とは、「あ」から「ん」まで、谷川俊太郎が好きなものを五十音順に記し、それらを写真家の田附勝が日本各地を撮影して応えた、展覧会のために作った新作。展示では文字と写真が映像で写し出される。



「すきのあいうえお」の「む」/ 撮影・田附勝

1

<会期中のイベント>

◆ギャラリートーク

日時：10月24日（金）11時～（約45分）

講師：林綾野（本展キュレーター）

参加費：無料 / 要・展覧会の当日観覧券（事前申込不要）

◆記念コンサート

「たにけん sings しゅんたろ ～かわいい歌からおもしろこわい歌、そして泣ける歌まで～」

谷川俊太郎（しゅんたろ）と谷川賢作（たにけん）が共作した、校歌や劇中歌から、

大人のためのちょっと不思議な歌まで、たにけんがめいっばい歌いまくります。

創作をめぐるエピソードトークもお楽しみに！

演奏：谷川賢作（音楽家）

日時：11月21日（金）14時開演（受付開場は13時半）

会場：伊丹アイフォニックホール 小ホールⅠ（伊丹市宮ノ前 1-3-30）

定員 40 名（未就学児も入場可） / 参加無料

※要・事前申込 / 10月25日（土）10時より電話 072-772-5959 にて受付開始

<同時開催の展覧会>

◆柿衛文庫コレクション 俳諧・俳句のオノマトペ展

会期：10月24日（金）～12月21日（日）

会場：展示室Ⅰ

料金：一般 200 円、大高生 150 円、中小生 100 円

※「谷川俊太郎 絵本★百貨展」とのセット券も販売

谷川さんが手がけた絵本をはじめ、
展覧会オリジナルグッズも
盛りだくさん！

<展覧会の見どころ1>

● 絵本から飛び出した展示「意味があるより、おもしろく」

展覧会で取り上げる絵本は約 20 冊。それぞれの絵本について、アートディレクター、映像作家、建築家など、多才なクリエイターたちが表現した映像や朗読、音、インスタレーションなどをご覧ください。

キュレーション：林綾野 / アートディレクション：有山達也 / 空間構成：手塚貴晴

参加クリエイター：新井風愉、岡本香音、柿木原政広、神田京子（講師）、坂井治、田附勝、張替那麻、minna

取り上げる絵本：

『絵本』 写真・谷川俊太郎、的場書房、1956（2010 復刊 / 澤標）

『まるのおうさま』 絵・栗津潔、福音館書店、1971

『こっぷ』 写真・今村昌昭、福音館書店、1972

『ぴよぴよ』 絵・堀内誠一、ひかりのくに、1972（2009 復刊 / くもん出版）

『ことばあそびうた』 絵・瀬川康男、福音館書店、1973

『とき』 絵・太田大八、福音館書店、1973

『もこ もこもこ』 絵・元永定正、文研出版、1977

『えをかく』 絵・長新太、新進、1973（1979 復刊 / 講談社）

『せんそうごっこ』 絵・三輪滋、ぼるん舎、1982（2015 復刊 / いそっぷ社）

『なおみ』 写真・沢渡朔、福音館書店、1982

『うつくしい！』 写真・塚原琢哉、日本ブリタニカ、1983

『ままです すきです すてきです』 絵・タイガー立石、福音館書店、1986

『よるのようちえん』 絵・中辻悦子、福音館書店、1998

『おならうた』 絵・飯野和好、絵本館、2006

『おそばおばけ』 絵・しりあがり寿、クレヨンハウス、2009

『かないくん』 絵・松本大洋、ほぼ日、2014

『これはすいへいせん』 絵・tureratupera、金の星社、2016

『へいわとせんそう』 絵・Noritake、ブロンズ新社、2019

『オサム』 絵・あべ弘士、童話屋、2021

『ぼく』 絵・合田里美、岩崎書店、2022

『ここはおうち』 絵・junaida、ブルーシープ、2023

『すきのあいうえお』 写真・田附勝、ブルーシープ、2023

和田誠との絵本あれこれ

2



『まるのおうさま』（絵・栗津潔）福音館書店 1971



『まるのおうさま』のアニメーション：坂井治（映像作家）

3

4

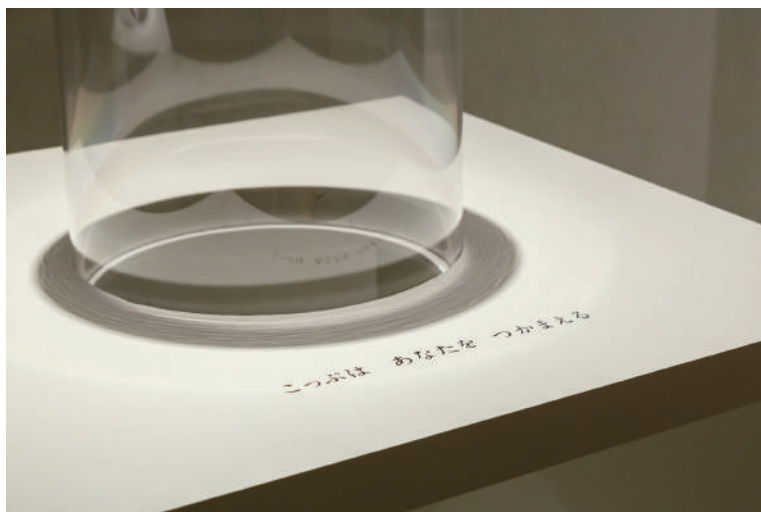


『おならうた』（絵・飯野和好）絵本館 2006



展示デザイン：minna（アートディレクター／デザイナー）

5



『こっぷ』 インスタレーション：柿木原政広（アートディレクター）

6

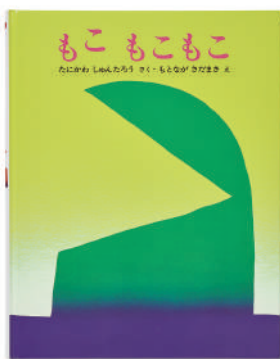
全ての写真：東京会場の展示風景（撮影：高橋マナミ）

<展覧会の見どころ 2>

● あの名作をはじめ、貴重な絵本の原画が見れる

展覧会で取り上げる約 20 冊の絵本のうち、9 冊の絵本については原画を展示します。なかでも、兵庫県ゆかりの作家である元永定正の絵本『もこ もこもこ』と、伊丹市内の幼稚園がモデルとなった中辻悦子の『よるのようちえん』の原画全点を特別に展示します。

7



『もこ もこもこ』（絵・元永定正）文研出版 1977

8



元永定正『もこ もこもこ』の原画、作家蔵
©Motonaga Archive Research Institution.Ltd.

9



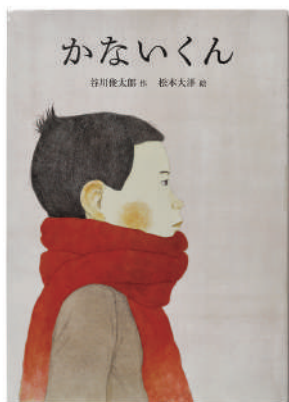
『よるのようちえん』（絵・中辻悦子）福音館書店 1998

10



中辻悦子『よるのようちえん』の原画、作家蔵
©Motonaga Archive Research Institution.Ltd.

11



『かないくん』（絵・松本大洋）ほぼ日 2014

12



『もこ もこもこ』の映像インスタレーション：岡本香音（映像作家）
東京会場の展示風景（撮影：高橋マナミ）

広報用画像およびチケプレ掲載の申込書

市立伊丹ミュージアムにて開催する「谷川俊太郎 絵本★百貨展」にて、貴媒体での掲載にあたり画像がご入用の際は下記にご記入の上、FAX かメール：gakugei@itami-im.jp にてお申し込みください。

画像（別紙プレスリリース参照）

※ご使用の際は下記キャプションとクレジットを明記してください。

※部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理は禁止されております。 ※掲載記事の提出をお願いします。

☐	1	「すきのあいうえお」の「む」、撮影：田附勝
☐	2	『まるのおうさま』（絵・栗津潔）福音館書店 1971
☐	3	『まるのおうさま』のアニメーション：坂井治、東京会場の展示風景（撮影：高橋マナミ）
☐	4	『おならうた』（絵・飯野和好）絵本館 2006
☐	5	展示デザイン：minna、東京会場 展示風景（撮影：高橋マナミ）
☐	6	『こっぷ』 インスタレーション：柿木原政広、東京会場の展示風景（撮影：高橋マナミ）
☐	7	『もこ もこもこ』（絵・元永定正）文研出版 1977
☐	8	元永定正『もこ もこもこ』、作家蔵 © Motonaga Archive Research Institution.Ltd.
☐	9	『よるのようちえん』（絵・中辻悦子）福音館書店 1998
☐	10	中辻悦子『よるのようちえん』、作家蔵 © Motonaga Archive Research Institution.Ltd.
☐	11	『かないくん』（絵・松本大洋）ほぼ日 2014
☐	12	『もこ もこもこ』の映像インスタレーション：岡本香音（映像作家）、東京会場の展示風景（撮影：高橋マナミ）

☐ 告知用のチケットプレゼント 名分（最大5組10名）

※ メディアでのチケプレ告知用に限ります。必ず掲載記事を市立伊丹ミュージアムに提出することを提供条件とします。

※ 転売や違法売買は一切禁止いたします。不正が判明した場合、該当チケットは無効となります。

媒体名：	掲載日：
御社名：	ご担当：
Mail：	
TEL：	FAX：
住所：	